

国と国立障害者リハビリテーションセンターとの意見交換会

議事要旨

1. 日時：平成25年11月18日（月） 11：30～12：20
2. 場所：国立障害者リハビリテーションセンター 本館4階小会議室2

3. 出席者

《国立障害者リハビリテーションセンター》

中村 耕三 総長
飯島 節 自立支援局長
飛松 好子 副院長
加藤 誠志 研究所長
中島八十一 学院長 他

《2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室》

平田 竹男 室長（内閣官房参与）
久保 公人 室長代理（文部科学省スポーツ・青少年局長）
蒲原 基道 副室長（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長）
杉浦 久弘 参事官（文部科学省スポーツ・青少年局競技スポーツ課長） 他

《文部科学省》

大槻 秀明 文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ政策調査分析官 他

《厚生労働省》

佐藤 潤 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課施設管理室長 他

《日本パラリンピック委員会》

中森 邦男 日本パラリンピック委員会事務局長

4. 議事要旨

- ・パラリンピアンの中でも、障害の程度によって、健常者と一緒にトレーニングができる者もいれば、排泄や体温調整の関係から、配慮が必要な者もいる。そのため、医療、リハビリ、スポーツが一体となった拠点が必要
- ・パラリンピアン強化拠点については、今後、地方での拠点の在り方も含め、中央の拠点としての必要な機能の検討を進める